



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 新田ゼラチン株式会社
 コード番号 4977 URL <http://www.nitta-gelatin.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 曾我 憲道
 (氏名) 佐々木 恒雄

TEL 072-949-5381

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	8,016	0.3	240	△46.8	219	△61.0	158	△57.8
26年3月期第1四半期	7,992	13.0	451	△23.1	562	△8.5	375	△18.0

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 249百万円 (△52.9%) 26年3月期第1四半期 530百万円 (283.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	8.64	—
26年3月期第1四半期	23.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	31,084	14,202	45.3
26年3月期	31,389	13,781	43.4

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 14,081百万円 26年3月期 13,636百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,000	12.3	800	46.8	800	26.9	500	8.5	27.21
通期	36,500	11.2	1,800	88.4	1,900	70.4	1,200	80.3	65.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	18,373,974 株	26年3月期	18,373,974 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	162 株	26年3月期	162 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	18,373,812 株	26年3月期1Q	15,769,912 株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国の景気は回復しているものの、中国や東南アジア諸国をはじめとする新興国の成長鈍化などにより、先行きは不透明な状況が続きました。一方、日本経済は、緩やかな回復基調にあるものの、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動の影響が見られました。

当社グループにとっては、海外原料価格の上昇、日本におけるエネルギーコストの上昇と円安による輸入仕入れコスト高止まりなど厳しい環境となりました。

日本市場、海外市場共に販売は伸び悩み、売上高は、8,016百万円（前年同期比0.3%増加）となりました。日本市場での製造コスト増加の価格転嫁遅れ、海外市場での一部製品の販売価格低下により、営業利益は240百万円（前年同期比46.8%減少）、経常利益は219百万円（前年同期比61.0%減少）、四半期純利益は158百万円（前年同期比57.8%減少）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① コラーゲン素材事業

ゼラチンは、日本では食用、カプセル用の販売が増加しましたが、価格改定交渉が難航したことにより利益は減少しました。北米は販売が堅調に推移しましたが、豚皮原料価格の上昇により利益は減少しました。この結果、ゼラチンの売上は増加しましたが、利益は減少しました。

コラーゲンペプチドは、日本では消費税増税に伴う駆け込み需要の反動により低調に推移し、アジア地域も販売が伸び悩み、売上が減少しました。

コラーゲンケーシングは、北米での販売が伸び悩み、欧州、中国での販売が低調に推移し、売上は減少しました。

その結果、当該事業の売上高は、5,375百万円（前年同期比1.8%増加）、セグメント利益は、321百万円（前年同期比27.7%減少）となりました。

② フォーミュラソリューション事業

食品材料は、製菓・デザートとハム・ソーセージ用が低調に推移し、売上が減少しました。

接着剤は、ホットメルト形接着剤が堅調に推移しましたが、シーリング材（高機能樹脂）は納入開始が遅れ、売上は伸び悩みました。

その結果、当該事業の売上高は、2,641百万円（前年同期比2.7%減少）、セグメント利益は、259百万円（前年同期比22.4%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末比305百万円減少の31,084百万円となりました。主な要因は、コラーゲンペプチド工場建設に伴い有形固定資産が503百万円、商品及び製品等のたな卸資産が497百万円、投資有価証券が101百万円増加した一方で、債権流動化により受取手形及び売掛金が1,450百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末比726百万円減少の16,881百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が228百万円、賞与引当金が135百万円増加した一方で、長期借入金（1年内返済予定を含む）が500百万円、会計基準の変更により退職給付にかかる負債が273百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末比421百万円増加の14,202百万円となりました。主な要因は、会計基準の変更により利益剰余金が347百万円、その他有価証券評価差額金が89百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の43.4%から45.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想は、平成26年5月9日に公表しました「平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の連結業績予想から変更はありません。

なお、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が225百万円増加（投資その他の資産のその他に含めて表示）、退職給付に係る負債が238百万円減少、利益剰余金が299百万円増加しております。

なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,426,006	2,480,596
受取手形及び売掛金	8,164,776	6,714,771
商品及び製品	4,732,050	5,342,780
仕掛品	1,089,542	1,026,782
原材料及び貯蔵品	1,820,812	1,770,624
その他	465,533	448,911
貸倒引当金	△13,339	△11,955
流動資産合計	18,685,381	17,772,511
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,815,141	2,764,555
機械装置及び運搬具(純額)	2,139,301	2,036,954
その他(純額)	3,849,844	4,506,082
有形固定資産合計	8,804,286	9,307,592
無形固定資産		
その他	50,795	50,667
無形固定資産合計	50,795	50,667
投資その他の資産		
投資有価証券	3,075,772	3,177,768
その他	775,527	778,030
貸倒引当金	△2,111	△2,101
投資その他の資産合計	3,849,189	3,953,698
固定資産合計	12,704,270	13,311,957
資産合計	31,389,652	31,084,469

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,255,505	4,483,515
短期借入金	1,121,491	1,133,478
1年内返済予定の長期借入金	1,932,912	1,904,583
未払法人税等	147,730	13,125
賞与引当金	177,916	313,024
その他	2,444,825	2,302,084
流動負債合計	10,080,381	10,149,812
固定負債		
長期借入金	4,415,868	3,943,280
役員退職慰労引当金	37,072	37,072
退職給付に係る負債	2,524,417	2,251,168
その他	550,869	500,319
固定負債合計	7,528,227	6,731,839
負債合計	17,608,608	16,881,652
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,144,929	3,144,929
資本剰余金	2,966,442	2,966,442
利益剰余金	8,623,463	8,971,047
自己株式	△68	△68
株主資本合計	14,734,766	15,082,350
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	622,837	712,654
繰延ヘッジ損益	△5,110	2,316
為替換算調整勘定	△187,061	△235,621
退職給付に係る調整累計額	△1,528,458	△1,480,419
その他の包括利益累計額合計	△1,097,792	△1,001,070
少数株主持分	144,069	121,536
純資産合計	13,781,043	14,202,816
負債純資産合計	31,389,652	31,084,469

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	7,992,993	8,016,422
売上原価	6,229,307	6,417,022
売上総利益	1,763,686	1,599,400
販売費及び一般管理費	1,311,740	1,358,881
営業利益	451,945	240,519
営業外収益		
受取利息	198	70
受取配当金	9,278	11,829
為替差益	64,584	—
持分法による投資利益	53,621	24,184
その他	25,138	17,671
営業外収益合計	152,820	53,755
営業外費用		
支払利息	35,103	33,489
為替差損	—	37,092
その他	7,027	4,243
営業外費用合計	42,131	74,825
経常利益	562,635	219,449
特別損失		
固定資産除却損	8,454	2,995
特別損失合計	8,454	2,995
税金等調整前四半期純利益	554,180	216,453
法人税等	179,793	60,675
少数株主損益調整前四半期純利益	374,386	155,777
少数株主損失(△)	△1,578	△2,975
四半期純利益	375,964	158,753

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	374,386	155,777
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	76,807	89,981
繰延ヘッジ損益	△12,754	3,953
為替換算調整勘定	212,790	△15,880
在外子会社の年金債務調整額	△60,401	—
退職給付に係る調整額	—	48,530
持分法適用会社に対する持分相当額	△59,910	△32,558
その他の包括利益合計	156,530	94,025
四半期包括利益	530,917	249,803
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	525,270	255,476
少数株主に係る四半期包括利益	5,647	△5,673

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コラーゲン素材事業	フォーミュラソリューション事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	5,279,632	2,713,360	7,992,993	—	7,992,993
セグメント間の内部売上高又は振替高	329,131	—	329,131	△329,131	—
計	5,608,763	2,713,360	8,322,124	△329,131	7,992,993
セグメント利益	444,927	334,641	779,569	△327,623	451,945

(注) 1. セグメント利益の調整額△327,623千円には、セグメント間取引消去525千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△328,149千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コラーゲン素材事業	フォーミュラソリューション事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	5,375,223	2,641,198	8,016,422	—	8,016,422
セグメント間の内部売上高又は振替高	346,330	—	346,330	△346,330	—
計	5,721,554	2,641,198	8,362,753	△346,330	8,016,422
セグメント利益	321,809	259,692	581,501	△340,982	240,519

(注) 1. セグメント利益の調整額△340,982千円には、セグメント間取引消去126千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△341,108千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。